

## 巻頭言

### 特集「コンテナ船の安全運航への取組み」発刊によせて

執行役員 技術研究所長 藤浪 幸仁

ClassNK技報No.7の発行に際して、一言ご挨拶申し上げます。

技術広報誌「ClassNK技報」は、本会の技術活動や研究成果などの公表により、海事産業などへの技術的貢献を図ることを目的に発行しています。前号（ClassNK技報No.6）では、海事分野におけるリスクアセスメントやリスクベース設計の考え方に焦点を当てて、関連の技術動向や最新の研究開発成果等を報告いたしました。

近年、世界的なコンテナ貨物需要の増加に伴い、多くのコンテナ船が建造されました。同時に環境規制による減速運航の影響によりコンテナ船の大型化が進むなど、今世紀において最も大きな変化を遂げた船種と言えます。このようなコンテナ船に関して、本会は2022年に鋼船規則C編の全面改正を実施し、構造設計・評価を従来よりも安全かつ合理的に行うことを可能としました。さらに、本年度に3種類のガイドラインを公表し、コンテナ船のオペレーションに関するニーズに応える支援サービスを拡充しています。

本技報No.7では、「コンテナ船の安全運航への取組み」と題する特集を組み、コンテナ船に関する構造規則およびガイドラインの概要についてご紹介いたします。さらに、種々の研究開発成果や本会の技術活動、IMOの動向等に係る多彩な記事・論文を掲載しています。

本会は今後も社会や業界のニーズを踏まえて、海上における人命と財産の安全確保、海洋環境の保全および社会を先導するイノベーションの創出に資する研究開発に鋭意取組み、海事産業の更なる発展への貢献に努めてまいります。

今後とも皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。